

都市安全の高度化に関する 国際シンポジウム

専門家会議およびシビルフォーラムの開催目的

東南アジアはプレートの境界に位置しており地震が頻繁に発生し、モンスーンや台風の情熱地帯であるため、自然災害の脅威にさらされている。自然災害からの都市の安全を守ることは、東南アジア圏に位置する我が国のみならず周辺諸国政府の最重要施策となっている。

本会議は、防災研究に従事しているトップレベルの専門家による意見交換の場を提供することにより、防災対策の現状と問題点に関する相互理解を深め、各種災害に対して安全で安心な都市を創成するための方法論を模索することを目的としている。

このために、防災に関する各種政策の提言、防災に関する社会科学的研究、防災教育や防災ボランティアに関する研究、復旧・復興過程、災害情報、災害制御技術、修復技術、ヘルスモニタリング技術等を会議の主テーマとして、専門家による研究・技術論文の発表を行い、防災に関する最先端の研究や技術の情報を発信する。

さらに、著名な防災研究者を招き特別講演を実施することにより、防災・減災に関する到達水準に関する講演を行うとともに、日中両国ならびに台湾における地震防災の現状と将来展望をわかりやすく解説するための市民フォーラムを同時に開催する。

2010年3月27日土 13:30～16:30
神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

参加
無料

専門家会議同時開催

見学自由・要申込

発表は英語で行われ、通訳はありません。

3/27(土) 9:00～12:00

3/28(日) 10:00～12:00

13:30～16:30

□シビルフォーラム 13:30～16:30

講演 欧進萍 大連理工大学 学長 教授
林春男 京都大学防災研究所 教授
羅俊雄 国立台湾大学 教授

逐次通訳あり

■講師・パネリスト



欧進萍氏 大連理工大学 学長 教授

「汶川（ウェンチュアン）地震（中国）における特定地域の被害構造物の取り壊し技術と再建の戦略」

The Regional Engineering Destroy and Rebuild Strategy in Wenchuan Earthquake of China



羅俊雄氏 国立台湾大学 教授 (Distinguished Professor)

「巨大都市と巨大災害に対する危機管理・応急対応・復旧と復興」

Emergency Management / Response / Recovery against MC/MD (Mega-city and Mega-disaster),



林春男氏 京都大学防災研究所 教授

「阪神淡路大震災を契機に始まった『復興』研究の現状と課題」

Study of Long-term Recovery Process Started with the 1995 Kobe Earthquake.

■コーディネーター 佐藤忠信

神戸学院大学学際教育機構教授

■定員：650名

■お申込先・お問合せ先

神戸学院大学 防災・社会貢献ユニット事務室

TEL:078-974-2536

FAX:078-974-2549

メール:saus2010@j.kobegakuin.ac.jp



各線三ノ宮駅からポートライナー利用
「市民病院前（キャンバス前）」下車徒歩10分



お申込方法

代表者のお名前・ご参加人数・ご連絡先・参加プログラム
(専門家会議・シビルフォーラム)をお知らせください。

個人情報は本シンポジウム運営以外の目的では使用いたしません。

主催 「都市安全の高度化に関する国際シンポジウム」実行委員会

共催 神戸学院大学学際教育機構 東南大学城市工程科学国際研究センター

協賛 NPO法人映像記録 株アマノ 有新進堂印刷所

協力 TKK学び合い連携センター ポーアイ4大学連携推進センター

後援 人と防災未来センター 地域安全学会 JICA兵庫 国際防災研修センター



この事業は、「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています